
AEUでモノ拾い

睡眠欲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

A E Uでモノ拾い

【Nコード】

N 8 0 7 8 Y

【作者名】

睡眠欲

【あらすじ】

なんか殺されて転生したけどチートと言えるか微妙な能力をもらって転生させられた先はA E U!?

それも未来の不死身さんであるコーラさん家のお隣さん?!

さて、俺はこれからどうやって生き抜いていくんだ(汗)

これからいろんなコネを使って何が何でも生き残ってやる!

さあ、どんな相手でもかかってこい!

まあ自分より弱い相手限定ですけどね(泣)

睡眠欲の第二弾、あまり期待はしないでね

出来れば専用機だしたいな
さてさて、俺は生き残る事が出来るか？

始めに（前書き）

なのはの世界に武力介入の区切りがつかないなら投稿するといいましたが
何時区切りがつか分らないのでもう投稿しちゃいました。m（

——）m（

始めに

西暦2307年、人類は未だ争いを止める事が出来なかった。この連鎖を止めるべくソレスタルビーングが起ちあがる。

だがこの話はそれから28年前から始まる、一人の転生者の話である。

本当にすいません、なのはの世界で武力介入の区切りがつか分らないので書き始めました。

言い訳する気はありません。

批判でも非難でも言って頂いて結構です。

しかし自分は書き続けると考えていきますので両方書いていきたいと思っております。

では、書かせていただきます。

あ、俺死んじゃってるよ(前書き)

特にいう事はありません。
批判でもなんでもどうぞ。

あ、俺死んじやってるよ

SIDE???

ん、俺の名前？

つうか聞いてんのは誰よ？

一応言っとく。

俺の名は小田^{おだ}光孝^{みつたか}25歳、独身。

趣味は、まあ俗にいうガンオタだな。

ガンプラ作ったりしてる何てことない東京都の足立区にあるマンション在住の社会人。

普通に会社勤めているサラリーマン。まあ中間管理職だから色々あるんだがまあそこそこいい感じ。

今日は久しぶりの休日。一日中寝ていたい感じだ、何にもする気がしない。

ガンダムのDVDも大抵のは見終わってるし最近は〇〇系の機体を作ってる。

特に外伝系の機体が好きだな。

ストックも少なくなってきたるしなんか買つか。

のそのそと立ち上がりクローゼットにある服を適当に来て出かける。ドアを開け、エレベーターのボタンを押し下に降りマンションを出る。

道に出てある程度あるくと行きつけのガンプラがある店。

その中に入りプラモがある所へ。

「お、今日についてんじゃん、イナクトデモカラーに1・5ガンダム、加えてアストレアF2。買っとくか」

レジに持っていき代金を支払い、帰路につく。

「イナクトとアストレアはそのまま組んで合わせ目消して、1・5は機体の色変えてタイプダークにするか」

買った帰りに他にも色々考えていたら

目の前に爺さんが車に引かれそうな光景が……………?!

「間に合ええ！」

だが無情にも爺さんは車に引かれた。

間に合わなかった……………!

「な、なな、なんで爺さんが生きてんだ……………?!?!?!」

「見られてしまったのう……………どうす……………の……………本々……………

……………」

その言葉を発した瞬間俺の意識は潰えた。

SIDE 光孝

「お・、起き・・・・。おい、起きるン・・・・。おい、お・い、起き
んのう」

声が聞こえる、どうかで聞いたような。

「……確か爺さんの？爺さんはさつき目の前で死んだ筈！いや目の前でなんか喋ってたような？」

「まさか？！俺は意識を覚ました。目の前にはcrazyな光景が……だつてさっきの爺さんが目の前にいて、場所は真っ白の大地に水が張っていて空の景色が映つてるんだぜ。」

「ならここはd「目を覚ました様じゃの。」」

「は？あんた誰？いや、Who are you？」

「ん〜一言でいうならあ、世界の管理人じゃの。あ、二言じゃつた。」

「……腕が良い精神科医紹介してあげますよ、大丈夫！保証しますから！」

「真面目に言われるとキツイのお……まあそこは放っておいて口調を元に戻したらどうじゃ？」

「へいへい、口調が見抜けるならある程度正気なようだな。で、ここ何処？」

「ん〜人が生まれる前の場所じゃ」

「あ、そう。でなんで俺がここにいんの？もう生まれて25年経つてるんですが。」

「儂の姿を見たからじゃ。でも今回は儂が悪いのう、そうじゃ、転生させてやるう！」

「ふうん、で？」

「反応薄いのお。お主の好きなOOの世界に送ってやるうかの」

「え、マジで?!」

「でも他の管理人の様にそこまで強い権限がないのじゃ、だから儂があげられるのは微妙なチート位かのう」

「じゃあア・バオア・クーの時のアムロレイ並みのニュータイプ能力で」

「無理じゃつて……」

「本当に??」

「本当じゃ!」

「本当に本当に??？」

「何回言ったらわかるんじゃ、無理だつつつの！」

「あ、キレた？」

「流石にキレるわ！何回も言ってるじゃろ！無理だつて！」

「いや、努力させるのが好きだからワザと与えないっていうパターンかと」

「そうか、そう考えてたか。まあ確かにそういう奴もいるの。」

「じゃあ普通にもらいますわ。で、使える能力は？」

「腹立つ奴じゃのーまあいいわ、使える能力全部出すから選べ！しかし4つまでじゃ」

「ハイハイ」

目の前にI p O dみたいなものに文字が表示されている。

4つしか使えないのならばちゃんと考えないと、つつか4つで縁起悪いな。

「縁起が悪いなら3つにしようかの？」

「いや、結構」

使える能力はつと、えつと何々。

身体能力系

イノベイド並みの操縦技能 ロックオン並みの操縦技能 ミハエル並みの操縦技能

ヨハン並みの操縦技能 ジョシユア並みの操縦技能 ミン中尉並みの操縦技能

スチュアート並みの操縦技能 ハワード並みの操縦技能 ダリル並みの操縦技能

アレハンドロ並みの操縦技能 アラツカ並みの操縦技能 バラツクジニン並みの操縦技能

ブリング並みの操縦技能 デヴァイン並みの操縦技能 ハーキュリ
ー並みの操縦技能

セルゲイ並みの操縦技能 アニユー並みの操縦技能 紅龍並みの身
体能力

ネーナ並みの操縦技能 リジエネ並みの身体能力 テイエリア並
みの操縦技能

サーシエス並みの操縦技能 ヒリング並みの操縦技能 リヴァイブ
並みの操縦技能

リボンス並みの操縦技能 マレーネ並みの操縦技能 ルイード並
みの操縦技能

グラーブ並みの操縦技能 ビサイド並みの操縦技能 アンドレイ並
みの操縦技能

グラハム並みの操縦技能 デカルト並みの操縦技能

技術系

イオリア並みの頭脳 エイフマン並みの頭脳 アニユー並みの頭脳
ルイード並みの頭脳

ラグナ並みの頭脳 モレノ並みの技術 アーサーグッドマン並みの
頭脳

ホームーカタギリ並みの頭脳 リーゼジャン並みの頭脳 アーバ
リント並みの頭脳

キム並みの頭脳

特殊能力系

イノベイド並みの脳量子波 デカルト並みの脳量子波

……多いな

「どれにしようかな……じゃあサーシエス並みの操縦技能一つ
お願いします」

「それは無理じゃ、触ってみい。」

触ったらなんか禁止マークが出てきた。

「ほれ、見たか。今の儂には無理なんじゃ、もう少し権限を持たない
と無理じゃ。」

「了解……」

何が使えんだよ、あんな死亡フラグ満載な所に行くならある程度の
能力は必要だな。

なら操縦系はバランスが取れている方がいいな。

「ならグラーベ並みの操縦技能一つ」

「これならイケるの」

次は頭脳系だな特殊能力は欲しいな。

待て、よく考えたら生まれたこの目が光るって怖いな。

それに自分で制御できるかは分からないし出来るだけ普通な感じに
しよう。

なら、「モレノ並みの技術とアニュー並みの頭脳、後グッドマン並
みの頭脳を頼む」

「ほう、上手いこと決定できた様じゃの、儂からの餞別じゃこのパ
ソコンを持ってけ。」

「は？何これ？」

「前世のネットにつながるパソコンじゃ。好きに使え。」

「ありがとさん、ほんじゃね神様」

「ほう、して根拠は？」

「世界を超えてネットにつなげる力に、他人の身体能力を付与できる力、転生可能なところ。からだ」

「なら頑張ってみせい、転生者光孝。」

「へいよ、頑張らせていただきませ」

言い終わる前に俺の足元に穴が開き、視界が落ちてゆく。

「しっかりせいよ、転生者！あ、それとお主がどこに生まれるかはランダムじゃあ。」

んなこと言われんでもやったるわ！それと、

「クソ神がふざけんなああ！！！！！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8078y/>

AEUでモノ拾い

2011年11月24日23時53分発行